



オンライン中間成果報告会

「居場所の包括連携によるモデル地域づくり」事業 ～2年間の成果報告と実践を踏まえたダイアログ～



発表者

NPO法人新座子育てネットワーク
代表理事 坂本純子



NPO法人 新座子育てネットワーク



埼玉県新座市で、
妊娠期から18歳までの子ども・子育て家を、地
域で支援しています。



1999年に発足し、
子ども・子育て支援に関する社会課題に
新座市・埼玉県・全国各地の自治体やNPO、企業、団体…等
多様な関係機関と共に先駆的に挑戦し続けて24年目。
埼玉県子供の居場所づくり推進事務局、地域ICTクラブ、
父親支援、なかまほいくほかを全国のNPO等と推進中。
地元の児童センター・子育て支援センター等も運営中。



子どもの未来 包括連携プロジェクト



後援: 新座市・市教育委員
市商工会
協力: 新座市社会福祉協議会

実行委員会
包括連携チーム

①17小学校区に
ひとつずつ
子どもの居場所
を作る

②フードバンク

子どもの居場所の
食を支える

③ひとり親支援

ひとり親世帯への
食支援・情報提供



担当チーム

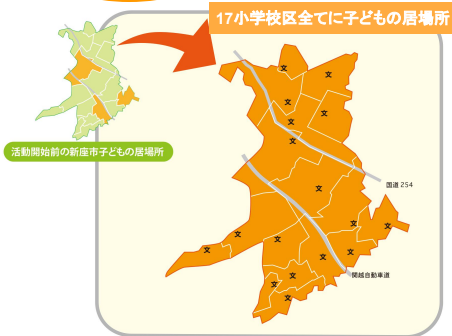




の2年間での取り組み

①17小学校区に
ひとつずつ
子どもの居場所
を作る

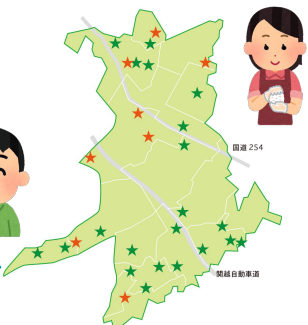
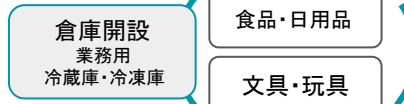
市内17小学校区、すべてに
子どもの居場所活動が誕生



児童 1,540人
ボランティア390人
参加

②フードバンク

子どもの居場所の
食を支える



子どもひろば
食支援: 1,540食

いいさ
子どもの未来
応援団

シングル
ファミリーサポート

登録世帯数: 157
登録児童数: 273 (1~18歳)

③ひとり親支援

ひとり親世帯への
食支援・情報提供

情報発信数: 51
(メールニュース)

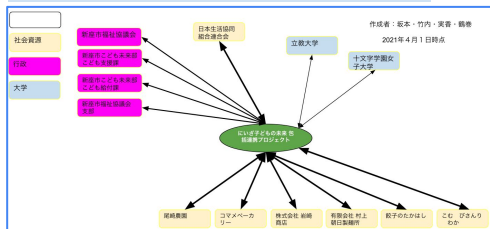
パントリー : 9回
配付品の総量:
食品: 6,18t
日用品・文具・玩具: 2151点



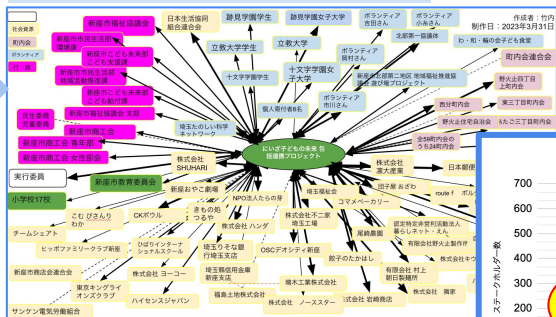


果と手応え

事業開始時点のエコマップ

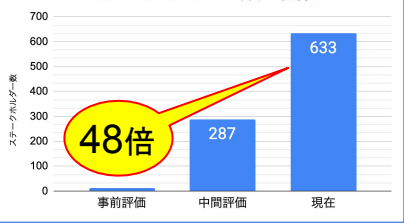


事業2年目のエコマップ



230回
訪問活動

ステークホルダー数の変化



5段階評価
1<5

2021年事前評価(活動開始前)

2022年中間評価(2022年7~8月の回答)

回答平均値



保護者や地域のステークホルダーへのアンケート結果から
アウトカム9本のうち8本が、事業実施後に上昇していました。

3月発表された
新座市地域福祉計画に
本プロジェクトが掲載されました。

第4次
新座市地域福祉計画
新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画
新座市成年後見制度利用促進基本計画
新座市再犯防止推進計画

新座市
社会福祉法人新座市社会福祉協議会

第2章 第3次計画の成果と課題

北部第二地区では、コロナ禍でもできる活動として、屋内での体操や散歩などを実施してきました。また、地域住民等による気軽な相談活動を試行するとともに、高齢者や障がいのある人も含めて皆が支え手となる取組として地域ボランティア登録を開始しました。

また、南部地区においては、高齢者相談センターと連携したおしゃべりの家を時間を短縮して開催するなど、各地区において様々な取組を検討、実施しました。

上記以外にも子育て中の父親を対象とした有志のグループ「お父さん盛上げ隊」の結成やNPO法人新座子育てネットワークが実施する休眠預金等活用事業「居場所の包括連携によるモデル地域づくり」として子ども食堂など、全小学校区で子どもの居場所づくりを進めてきました。また、ひとり親家庭の支援、フードパントリーの実施や居場所活動を支える応援団を組織するなど、子どもと子育て家庭の支援について世代や立場を越えて包括的に市民が支え合う地域づくりが進められるなど、子育て支援活動においては多様な主体による取組が行われています。



● Community-basedから Community-wideへ

- マンパワー
- ブランディング
- 財源バランス

